

## 第2回北方学園開校準備委員会 会議要旨

とき 令和2年3月27日(金)

ところ 庁舎2階 大会議室

※会議の主な内容は以下のとおり

事務局：定刻どおり第2回北方学園開校準備委員会を始める旨を告げる。(14時開始)

教育長：会議に先立ち、あいさつを述べる。

委員長：委員長あいさつを述べる。

委員長：次第に基づき、各部会での今年度の協議内容について説明を求める。

各部長：資料により各部会より今年度の協議内容について説明を行う。

委員長：各部会からの報告に対し質疑応答を行う。

(主な協議内容)

○新しい教科「北方科」とはどのようなものになるのですか。

⇒既存の副教材「マイタウン北方」を元に、地域学習をより充実させる形で新しい教科として編成します。具体的には、各教科での学習を地域に根差した身近な内容を通して学べるように進めます。例えば地域の人にゲストティーチャーとして授業に入ってもらったり、地域との連携を深めるという効果も期待できます。

○北方学園での部活動については「合同チーム」という考え方が基本になるのですか。

⇒学園開校時には、それまで北方中学校で一つのチームとして練習してきた仲間が分かれることになるので、初めの夏の大会は合同チームとして大会に参加する方針です。その後は部員の数によって判断することになりますが、全国的に部員数の確保が難しくなっているため、今後は合同チーム編成に関する規制が緩和されていく見込みです。

○協議内容が多岐に渡るため、次回からは事前に資料を送付してほしい。

⇒資料作成に時間がかかり、事前配布できませんでした。次回からは早めにお渡しできるようにします。

○南学園の施設レイアウトはあまり変わらないのですか。

⇒大きく変わる点として、中学校としての機能を持たせるために特別教室棟を増築します。

○子ども園の設置に関連して、幼稚園・保育園の再編はどうなるのですか。

⇒将来の子ども数の推移などを勘案しながら、具体的な施設再編について今後検討していきます。

○北方中学校の校歌には歴史があり愛着もあるので、愛唱歌として残せませんか。  
⇒学園開校時の校歌は今の北方小学校と北方南小学校の校歌を使う予定です。(北方小学校と北方西小学校の校歌の歌詞は学校名が違うだけです)北方中学校の校歌は2つの学園の愛唱歌として使いたいと思います。

○今後北方学園構想を進めていく際には、ソフト面の充実が大切です。小学校・中学校の先生の交流などの仕組みを考えていますか。  
⇒令和5年の開校の前から少しずつできることを行っていく予定です。北方小学校の6年生は来年度から北方中学校の校舎を利用しますし、中学校の教員が各小学校の授業の一部を受け持つ取り組みを実施します。また、日常生活の中から学年間交流ができるような生徒の縦割り集団を編成する予定です。

○「北方科」の編成にあたり、地域性などをどのように反映させますか。  
⇒コミュニティ学園協議会などと連携し、ゲストティーチャーに入っただけなど、協議を進めていく予定です。

○OPTA や自治会、コミュニティ学園活動など、それぞれの活動が一部重複しているものがあるのではないですか。  
⇒類似しているような取り組みはスリム化を図るなど、今後、各組織横断的な協議を行っていききたいと思います。

○学園が地域活動の中心になれるような役割を担えるとよいと思います。  
⇒学校運営協議会などの取り組みの充実と合わせて、具体的には今後の検討課題です。

委員長：各部長からの報告に対する質疑は以上とする。開校準備委員会として、本日の協議内容を踏まえて、各部長からの報告等を了承することとする。

委員長：次に、各部長からの報告を受けて、今回の開校準備委員会で方針を決定する事項について説明を求める。

事務局：資料により、今後の方針決定事項について説明を行う。

委員長：事務局の報告について質疑応答を行う。

#### (主な協議内容)

○学校間の交流を活発に行い、北方町が1つにまとまるような学校にしてほしい。  
⇒先ほど中学校の話がありましたが、小学校同士の交流も来年度から始めていく予定です。例えば、北方小学校と北方西小学校の遠足やクラブ活動、宿泊研修などを合同で行う予定でいます。

○校名や制服は2つの学校である程度統一した形にするのですか。

⇒アンケート調査で決定していきますが、アンケート項目を作成する際にはそのあたりも配慮したいと思います。

○学校が4校から2校になるが、教員の数は増えるのですか。

⇒教員の定数は、今の3小学校・1中学校体制が、2小学校・2中学校体制に変わることになります。小学校よりも中学校の方が職員数の配分が多いため、教員の数は増える見込みです。

○制服に関して、ジェンダーフリーへの取り組みは考えていますか。

⇒今のブレザー型の制服はジェンダーフリーに対応したものもあります。アンケート調査をする際にはそのあたりも配慮したいと思います。

○「幼保小中の連携による豊かな心の育成」を行うことで、「楽しく安心して通える学校」を目指していくということですか。

⇒各教員がしっかりと連携して子どもたちを見守っていくことが、安全・安心につながると思います。

○今後の協議においては、各部会横断的に議論を深めてほしいことと、教員の立場からも小学校と中学校は別の組織だという意識を変え、小中一緒に頑張っていくという姿勢で、さらに議論を深めていただきたい。

委員長：質疑は以上とする。事務局より説明のあった、開校準備委員会としての決定事項については、本日の協議内容を踏まえたうえで了承することとする。

委員長：最後に、その他の事項について事務局に説明を求める。

事務局：事務連絡として、来年度の委員会の日程及び委員の引継ぎ等について説明する。

委員長：以上で本日の会議を終了する。（15時45分終了）